てんぐ新聞

'13.5 No.191
発行責任 市岡昭夫
0283-88-5292

明るいニュースほしいけど
暗い話でよみません

波り島のソツドりやオルりの鳴き声をするようになり、気持が前向きになる季節ですが、再にするニュースは暗いものばかり。

今後して三好市になって数年になっても三好市の人口は上向きになりません。それどころか、毎日のニュースで遂に三万人を割ってしまったそうです。

「市」になっても人口減は止められません。観光だとか、あるいは、○×ホールを建てればとか、道を良くすればとの声はありますけれど、人口を増やす対策は見えません。

三好市の中心地の旧池田町でも、仕事がなくて、他県他市へ仕事に走ってる人も少なくないと聞きます。なかなか難しい課題ですが、様々な事の重要な点は、「人」ではないでしょうか。Uターンして来ても、親もとで仕事につけずにいる若者も増えています。若者が働ける土壌を考えてほしいものです。

住みたくなる三好市、東祖谷に必要なのは、果てしなんでしょう。

ゴールデンウィークは、全国各地の観光地は、人、車で混雑したようです。

なぜ、こんな事が起ってしまうのでしょうか。同じ様なケースが数年前にありました。

観光だとか、観光客にとって、どうかなんて事よりも、どこかの「声」によって左右されるからなのではないでしょうか。

根は同じだと思うのですが。

そこで、今年の年度が始まる直前になって、今までやってきた事を、全部ひっくり返すのでしょうか。

いまだ開店しない、ある観光施設の件は困ったものです。

どうなることやら。

新年度が始まり、今年で三好市になって、今年で数年になります。

なぜ、こんな事が起ってしまうのでしょうか。同じ様なケースが数年前にありました。

観光だとか、観光客にとって、どうかなんて事よりも、どこかの「声」によって左右されるからなのではないでしょうか。

根は同じだと思うのですが。

地域再生に口チをかけても、日々の小さな事も出来ないでは、絵に描いた餅にしかなりません。……とおもいます。

抗議文

米軍の垂直離着陸機オスプレイが訓練と称して、祖谷の上空を飛ぶ事に強く抗議します。